

1. 調査報告概要表

作成日 平成20年12月15日

【認知症対応型共同生活介護用】

【評価実施概要】

事業所番号	2773302159
法人名	有限会社 小池介護サービス
事業所名	グループホーム天下茶屋
所在地	大阪市西成区天下茶屋2丁目18番32号 (電話) 06-6653-1333

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 20年 11月 27日

【情報提供票より】(平成 20年 11月 3日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 3月 1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	23人	常勤 5人, 非常勤 18人, 常勤換算	12.8人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	2階建ての	1階 ~	2階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(294,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,100円		

(4) 利用者の概要 (平成 20年 11月 3日現在)

利用者人数	18名	男性 6名	女性 12名
要介護1	9名	要介護2	2名
要介護3	1名	要介護4	4名
要介護5	2名	要支援2	0名
年齢	平均 80歳	最低 65歳	最高 99歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医) 小池外科、医) 小林デンタルクリニック
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

医療法人が母体の営利法人が運営するグループホームです。南海本線天下茶屋駅のすぐ近くに立地し、昔からの町並みの中にある2階建てのホームで、騒音も少なく静かな環境です。アーケードのある商店街もすぐ近くにあり、買い物や散歩にも出かけやすい場所です。食事は3食ともホーム内で調理し利用者も参加して家庭的な雰囲気です。運営者、管理者の働きかけで、地域に密着した運営を目指しています。管理者は自治会の班長を委嘱され、定例の会合にも参加し、地域の方々との関係を築いています。3年前の開設時からの職員も多く、馴染みの職員による支援が得られています。提携しているグループの病院及び歯科医師から、定期的な往診や検査が受けられる他、配置されている看護師のサポートにより、医療面についても安心感があります。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況 (関連科目: 外部4)
	評価の意義は運営者、管理者、職員が良く理解しており、前回の外部評価結果は玄関に掲示しています。前回の外部評価で示された事項で、入浴の回数を増やす工夫と災害対策の事項については、改善への取り組みが進んでいます。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	自己評価については管理者が各職員から意見を求め作成しています。職員は評価の意義を理解し、問題意識をもち、努力の成果を確認しています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	運営推進会議の規定を作成し、地域包括支援センター職員、自治会長、婦人部、防犯部、家族、職員の参加により2ヶ月に1回開催しています。ホームの行事や活動について報告し、要望や助言をもらっています。会議内容には地域の方から消防避難訓練を受ける時は地域住民と一緒に訓練したい、またホームを避難場所にさせて欲しいとの申し出がありました。会議の議事録については参加できない家族にも送付しています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	3ヶ月に一度、「グループホーム天下茶屋スマイルだより」を発行し、家族へ利用者の写真や行事の内容をお知らせしています。また毎月の請求書も送付しています。家族が訪問された際には、健康面や日頃の情報について伝え、金銭管理についても確認してもらい、サインを得ています。状態の変化のあった時には、電話で情報を伝えています。家族の意見が出やすいよう玄関に意見箱を設置しています。苦情に対する申し出も受け入れる体制が整っています。家族や利用者からの意見は、管理者や職員で話し合い、共有して解決にあたっています。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	ホームは自治会に加入して一つの班としての役割をもらい、定例会に参加し、自治会行事の道路清掃・廃品回収・年末夜警などに参加しています。自治会から、ボランティアが必要な時はいつでも言って下さいと申し出があります。今後、老人いこいの家での喫茶店への参加も予定しています。ホーム行事の時には回覧を通してお知らせし、夏祭りには町内会長や民生委員の方にも参加してもらい、近隣の方々と利用者との交流を図っています。

2. 調 査 報 告 書

(☐ 部分は重点項目です)

外 部	自 己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続ける ことを支えていくサービスとして、事 業所独自の理念をつくりあげている	「心身共に閉鎖感を取り除き、以前の生活に 近づけるよう努めます。ご自身の価値観を受 容します。人生の先輩として人権を尊重しま す。ご自身のリズムで主体的参加・自己決定 権を第一に考えます。家庭的な安らぎのある 生活をしていただきます。利用して良かった と思える人々のふれあいをしていただきま す。出来ることはしていただきます。質の高 いサービスを提供します。いつも私たちがそ ばにいます。」をグループホーム独自の理念と し、掲げています。また地域密着型の理念と なるよう検討しています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念 の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は、玄関や各フロアの事務所に掲示され ています。毎月のスタッフ会議や日常の業務 を通じて、管理者と職員は理念を共有し、介 護サービスに反映させるよう心がけていま す。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	ホームは自治会に加入して一つの班としての役割を得ています。また自治会定例会に参加し、道の清掃・廃品回収・年末夜警などに参加しています。自治会よりボランティアが必要な時はいつでも言って下さいと申し出があります。今後、老人いこいの家での喫茶店への参加も予定しています。ホームの行事時には回覧を通してお知らせし、夏祭りには町内会長や民生委員の方にも参加してもらい、近隣の方々と利用者との交流を図っています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義は運営者や管理者、職員も良く理解しており、前回の外部評価結果は玄関に掲示しています。評価の結果は運営推進会議でも報告し、話し合っています。前回の外部評価で示された入浴回数の取り組みと、災害対策の事項については改善が進んでいます。自己評価については、管理者が各職員から意見を求め作成しています。職員は評価の意義を理解した上で問題意識を持ち、努力の成果を確認しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の規定が作成されています。参加者は地域包括支援センター職員、自治会長、婦人部、防犯部、家族、職員等で、2ヶ月に1回開催しています。ホームの行事や活動について報告し、要望や助言をもらっています。地域の方から消防避難訓練を受ける時は地域住民と一緒に訓練したい、またホームを避難場所にさせて欲しいとの申し出がありました。会議の議事録については家族にも送付し、参加できない方へも周知しています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	西成区の担当職員とは連絡を取り合っています。相談や助言があり、研修の情報も得ています。グループホームの連絡会や見学会の参加も教えてもらっています。福祉課からケースワーカーの訪問もあります。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	3ヶ月に一度、「グループホーム天下茶屋スマイルだより」を発行し、家族へ利用者の写真や行事の内容をお知らせしています。毎月の請求書も送付しています。家族が訪問された際には、健康面や日頃の情報について伝え、金銭管理についても確認してもらい、印を得ています。状態の変化のあった時には、電話で状況を伝えています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の意見が出やすいよう玄関に意見箱を設置しています。苦情に対する申し出も受け入れる体制が整っています。運営推進会議でも多数の家族が参加し、職員は家族の意見等を傾聴する機会になっています。意見のあった時は、管理者・職員で話し合い、共有して解決にあたっています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設から2年経過し、職員の異動は落ち着いてきています。家族への報告は、運営推進会議に参加される時や面会時に行っています。今後も異動を最小限にすることが望まれます。また、職員紹介については2ヶ月に1回、玄関に名前入り写真で掲示しています。今後は「グループホーム天下茶屋スマイルだより」での新人職員の紹介を期待されます。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者、管理者、職員は研修の重要性は認識しており、認知症実践者研修や感染症・食中毒防止対策等の外部研修を受講しています。職員は、交代で地域内のグループホーム見学会に参加しています。ホーム内で看護師による衛生管理等の指導も受け緊急時対応についても内部研修をしています。外部研修の内容は、毎月のスタッフ会議等で報告して資料を回覧しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	西成区グループホーム連絡会に参加しています。月 1 回グループホーム職員交流会と、4 ヶ月に 1 回管理者間の交流を行い、同法人内の見学・実習を取り入れています。また、他グループホームの実習も受け入れ、お互いの学びの場にし、サービスの質の向上になるよう取り組んでいます。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居までに本人や家族がホームへ見学に来訪することもあります。また職員が自宅や病院、入所施設へ伺うこともあります。職員は、家族が不安に思っていることをよく聴いたり、本人からゆっくり話を聞き納得をしてもらったりする等、対応しています。入居に至ったときは、他の利用者との関係作りにも配慮し、支援しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者を人生の先輩として敬意を持って接するように努めています。将棋や麻雀、料理の味付けを習い、郷土料理についても教わっています。育てた野菜を収穫して料理に使って味わっています。洗濯物を干したり、たたんだりとできることを共に行っています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で利用者の意向の把握に努めています。利用者が以前住んでいたところへの訪問を支援したり、街の雰囲気を楽しむために繁華街へ出かけたり、本人が生き生きと楽しく過ごせるための支援を検討しています。今後も、意思疎通の困難な利用者も含め、家族や関係者から情報が得られる取り組みが期待されます。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画書作成については利用者家族の意見を取り入れています。内容については会議で検討し、アセスメントシートには利用者の生活歴やライフスタイルを記載しています。利用者が望まれる生活を介護計画に取り入れ、利用者や家族による同意のサインを得ています。また職員全員が計画内容を把握しています。独居だった利用者でアセスメントの取りにくい場合もありますが、生活場面で把握された内容についての記載が望まれます。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6ヶ月に1回介護計画の見直しを行っています。モニタリングを実施し、家族や利用者の要望を取り入れ、利用者の変化がある場合は、その都度介護計画の見直しを行っています。アセスメント記録、カンファレンス記録、モニタリング記録が整備しており、それらに基づいて介護計画の見直しを行っています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホームの中庭を利用し、同法人グループホームと合同バーベキューを行いました。また、かかりつけ医受診の際、家族の支援がない方はホームの車を利用しています。医療連携体制を活かし、健康管理・歯科往診・訪問理容等を行い、利用者や家族から安心を得ています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回主治医の往診があり、健康管理をしてもらっています。週に1回は看護師も来訪、体調の変化などについて相談し、利用者や職員の安心につながっています。歯科医の往診が週に1回あります。かかりつけ医への受診時には家族や職員が支援しています。また、認知症の専門医の受診も支援しています。夜間の緊急時対応についても確保しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期対応については、契約時に家族や利用者と書面で取り交わし、居室の用意も整っていますが、今のところ看取りの経験はありません。終末期の医療体制はありますが、具体化したときは利用者、家族、医師、職員で再確認して、全員で方針の共有、検討をしています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	理念にもあげられているように、人権の尊重を掲げて日々の介護の場面でも心がけています。また、プライバシーに対する意識向上のため、会議を行っています。個人記録は利用者の目に触れないよう保管されています。採用時、職員には守秘義務に関する誓約書を交わしています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを尊重して、自室で絵を描いて楽しむ方、ビデオを楽しむ方、本を読んだり新聞を見たりとゆったりと過ごしています。グループホームとしての日課はありますが、利用者の希望に合わせて支援し見守っています。喫煙者も職員が見守る中タバコを楽しまれています。今後も、その人らしい暮らしの支援についての検討を重ねられることが期待されます。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は毎食ホーム内で調理し、適温でいただけるようにしています。食材は毎日買い物に行き購入しています。朝食のパンやおやつは利用者と一緒に買いに行っています。献立については利用者の好みを聞き、残されたものを把握して献立に反映させています。餃子やお寿司、たこ焼きは人気があり、取り入れています。職員も利用者と同じものをいただきながらさりげなく支援しています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴はおおよそ週3回実施していますが、毎日入りたい方にも希望があれば対応しています。お風呂を好まれない方には、呼びに行く人を変えてみたり、介助者を希望の職員にしたりするなどして工夫しています。二人介助で入浴していただき、ゆっくりとくつろいでもらえるように安全に気をつけています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりが毎日の暮らしの中で力を発揮してもらえるよう、お願いできる仕事を頼み、支援しています。自ら進んで参加する利用者もいます。家事では洗濯物干しやたたみ、食器拭き、掃除、シーツの交換などがあります。新聞を一枚一枚たたみ、再利用しやすいようまとめてくれる利用者もいます。宝くじや自分の下着、ビデオを買いに出かける支援もしています。趣味活動も盛んです。部屋で読書を楽しむ利用者もいます。一人ひとりが思い思いに楽しみ、気晴らししながら暮らしています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日には、朝の散歩としてホーム周辺を散策しています。初詣は近くの神社へ出かけています。お花見や外食に出かけたり、浄水場のつつじ鑑賞会に参加をしたり、招待状をいただいて大衆演劇を観に行き利用者から喜ばれました。利用者の希望により難波まで買い物に出かけることもあります。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は施錠していますが、内から自由に開けることができ、利用者が自由に開けられる状態になっています。外出される時には見守りで安全を確保しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策のマニュアルが定められ、年 2 回の自主消防・避難訓練、年 1 回の消防署の協力の下、訓練を実施しています。ホーム内の倉庫に食料、飲料水等の備蓄もしています。災害時は地域の方の協力が得られるよう自治会に働きかけ、ホームも近隣の方の一時避難場所として使用もらえるように協力体制を取っています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの食事摂取量や水分摂取量を把握しています。栄養バランスと好みを配慮しながら献立を考えています。栄養バランスについては、法人内の老健施設の管理栄養士に助言をもらっています。糖尿病の方や嚥下困難な方にも配慮して提供しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、食堂は温かな雰囲気、絵画や行事の写真、またクリスマスの飾りもあります。壁には利用者の作品やお知らせが掲示されました。廊下、浴室、トイレ等もバリアフリーとなっており、清潔感があります。ベランダには物干し場や菜園コーナーもあり、じゃがいもやゴーヤを栽培し、収穫しています。また不快な音や光はなく、家庭的でくつろいだ雰囲気です。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはベッド、ロッカーを設置しています。自宅から持ちこまれた仏壇、テレビ、机、タンス、写真、絵画等があり、思い思いの居室作りをしています。毎日仏壇にお参りする方や好きな絵を描いている方など、家庭的なくつろぎをしています。		